

首都圏情報産業特区・八王子』構想における

# モデル地区内ソフト系 Ⅱ産業の実態調査

## 報告書

### 《 概要版 》

平成13年12月

首都圏情報産業特区・八王子』構想推進協議会

# 目 次

	頁
第1章 調査の概要.....	1
1 調査の背景と目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査方法と結果.....	2
3.1 調査方法.....	2
3.2 調査結果.....	2
第2章 モデル地区内ソフト系IT産業の集積状況.....	4
1 JR八王子駅・京王八王子駅周辺地域の集積.....	5
2 集積状況の特徴.....	6
第3章 ソフト系IT企業調査の要約	
1 モデル地区内IT企業と先進IT企業との比較.....	7
1.1 経営者の年齢.....	7
1.2 設立時期.....	8
1.3 年商規模.....	9
1.4 立地特徴.....	10
1.5 社内・社外コミュニケーション環境.....	11
(1) 社内コミュニケーション環境.....	11
(2) 社外コミュニケーション環境.....	12
1.6 公的支援ニーズ.....	13
(1) 経営効率向上策について.....	13
(2) 経營業績向上策について.....	14
(3) 研究・技術蓄積向上策について.....	15
(4) 行政支援策について.....	16
1.7 モデル地区内IT企業のアンケート調査における自由意見.....	17
1.8 先進IT企業のアンケート調査における自由意見.....	18
2 モデル地区内IT企業のヒアリングのまとめ.....	19

## 第1章 調査の概要

### 1 調査の背景と目的

#### (1) 調査の背景

八王子市では、平成12年度に発足した市長の私的諮問機関である「八王子市地域産業振興会議」より、一「首都圏情報産業特区・八王子」構想の構築、二「中心市街地の活性化に向けて」の二つの方向性が提言され、前者において特にITを活かした産業振興を目指すことが打ち出された。

その構想の核として、特に、**JR八王子駅・京王八王子駅周辺を中心とした1km四方の地域を「モデル地区」**に指定し、既存・新規産業を問わず、スムーズかつ効率的な事業活動の場、ビジネスチャンス拡大を目指した高度情報インフラ整備、各種優遇支援策等、八王子市中心部の産業活性化を図ることが検討されている。

一方、首都圏の種々の自治体の中には、既にIT企業に対する産業活性化施策を始動しているところも出ている。例えば最近では、千代田区は、区が所有するビルをITベンチャー支援のために貸出し、話題となったり、杉並区では、区内にアニメ制作会社が集積していることから産業振興課を新たに設けてアニメ産業の育成と杉並区の産業振興を行うなど自治体の積極的な活動が進められている。

#### (2) 調査の目的

上記の背景を踏まえ、主に以下の3点を把握するための調査を実施した。

八王子市のモデル地区内に立地しているIT企業の経営実態と課題

国内の各地域にて集積し活動している先進的IT企業の経営実態と課題

既に地域産業振興施策を計画・実施している先進的自治体について施策内容、取組み経緯及び組織運営等について把握する。

### 2 調査対象

調査対象は以下の通りである。

#### (1) 「モデル地区」内IT企業

JR八王子駅・京王八王子駅周辺を中心とした1km四方の「モデル地区」にて操業しているIT企業

#### (2) 先進IT企業

国内の主な集積地で既に活動しているIT企業及び既に業界内で成功実績を上げている知名度の高い中堅IT企業（札幌、三鷹、相模原等のインキュベーション施設入居企業、書籍・雑誌等で紹介されているITベンチャー企業より抽出）

### 3 調査方法と結果

#### 3.1 調査方法

##### (1) IT企業に対するアンケート調査

「モデル地区」内対象IT企業をNTTタウンページ等から抽出し、アンケート調査を行った。

業種分類はNTTタウンページにおける業種分類として、「ソフトウェア業」、「情報処理サービス」、「インターネット」として登録している企業の住所データを整理して調査を行った。

これら対象企業は、ソフトウェア技術を核にした事業を営んでおり呼称として「ソフト系IT企業」と呼ぶことにした。

先進IT企業は、国内の各地域にて集積し、活躍している企業をHP（ホームページ）や雑誌等から抽出し、企業の住所データを整理して調査した。

##### (2) ヒアリング調査

「モデル地区」内のIT企業でアンケート調査の回答者を対象に経営課題、支援ニーズ等についてヒアリング調査を行った。

首都圏及び近隣県にてIT技術・産業により産業振興を計画・実施している自治体を調査し、「首都圏情報産業特区・八王子」構想の施策の参考となる事業を計画あるいは実施している自治体について資料収集とヒアリング調査を行った。

#### 3.2 調査結果

##### (1) 「モデル地区」内IT企業の調査

調査期間：平成13年10月15日～平成13年10月25日

調査結果：

調査結果は、図表 1 - 4 - 1の通りである。

回収率は43.3%、有効回答率43.3%である。

図表 1 - 4 - 1 八王子「モデル地区」内IT企業調査のまとめ

区分	町名	事業所数(社)					割合(%)	
		発送	回答	(内移転等)	宛先なし	無回答	発送構成比	回答率
1	横山町	18	11			7	20.0	28.2
2	東町	8	4	1		4	8.9	10.3
3	旭町	6	2		1	3	6.7	5.1
4	中町	7	3			4	7.8	7.7
5	明神町	25	7		3	15	27.8	17.9
6	新町	3	1		1	1	3.3	2.6
7	子安町	19	8			11	21.1	20.5
8	三崎町	1	1			0	1.1	2.6
9	寺町	1	1			0	1.1	2.6
10	南町	2	1			1	2.2	2.6
11	万町	0	0			0	0.0	0.0
合計		90	39	1	5	46	100.0	100.0

また、回答者に対するヒアリング調査の結果は、図表 1 - 4 - 2 の通りである。

図表 1 - 4 - 2 「モデル地区」内回答IT企業のヒアリングのまとめ

区分	町名	ヒアリング事業所数(社)		
		対象数	実施数	備考
1	横山町	11	11	
2	東町	4	3	
3	旭町	2	2	
4	中町	3	3	
5	明神町	7	5	
6	新町	1	1	
7	子安町	8	7	
8	三崎町	1	1	
9	寺町	1	1	
10	南町	1	0	
11	万町	0	0	
	他(移転等)			
合計		39	34	

(2) 先進IT企業の調査

調査期間：平成13年11月16日～平成13年11月28日

調査結果：

国内の主な集積地における先進IT企業及び雑誌等からの先進IT企業を抽出

発送数(社)	229
回答数(社)	37
回収(回答)率(%)	16.2

## 第2章 モデル地区内ソフト系IT産業の集積状況

### 1 JR八王子駅 京王八王子駅周辺地域の集積

モデル地区（JR八王子駅・京王八王子駅周辺を中心とした1km四方地域）内におけるソフト系IT産業の企業数は、アンケート調査結果より85社である（図表1-1-1）。

「ソフト系IT産業の実態調査報告書」（国土交通省国土計画局大都市圏計画課編 平成13年10月発行）によると、八王子市のソフト系IT産業の企業数は、1999年9月時点で141社、2001年3月時点では147社と増加している。この2001年3月時点のデータを基に比較すると、モデル地区内調査企業数全体85社は、57.8%の構成比となりこのモデル地区内だけで半数以上が集積している。

また、3業種（ソフトウェア業、情報処理サービス、インターネット）で比較すると、モデル地区内企業数は64社である。同じように、「ソフト系IT産業の実態調査報告書」の八王子市のソフト系IT産業企業数と比較すると、構成比が43.5%となり、半数近くがこのモデル地区内に集積していることがわかる。

このモデル地区内の集積度は非常に高いことを示している。



## 2 集積状況の特徴

モデル地区内の集積状況の特徴を町別、業種別にみると以下の通りである。

### (1) 町別集積状況

町別集積状況をみると、一番多いのが明神町23社(27.1%)、ついで子安町19社(22.4%)、横山町18社(21.2%)の順である。この3町で合わせて60社(70.7%)占めている(図表1-1-2)。

図表 1 - 1 - 2 ソフト系IT企業の町別事業所数

区分	町名	事業所数	割合(%)
1	横山町	18	21.2
2	東町	7	8.2
3	旭町	5	5.9
4	中町	7	8.2
5	明神町	23	27.1
6	新町	2	2.4
7	子安町	19	22.4
8	三崎町	1	1.2
9	寺町	1	1.2
10	南町	2	2.4
11	万町	0	0.0
合計		85	100.0

### (2) 業種別状況

業種別集積状況をみると、ソフトウェア業が36社(42.4%)、情報処理サービスが27社(31.8%)、インターネットが1社(1.2%)、印刷・広告業等が21社(24.6%)である(図表1-1-3)。

ソフトウェア業及び情報処理サービスが多く、2業種合わせて63社(74.2%)を占める。インターネット等いわゆるネットビジネスの割合は非常に少ない。

図表 1 - 1 - 3 ソフト系IT企業(3業種)の町別事業所数

区分	町名	3業種の町別事業所数				合計
		ソフトウェア業	情報処理サービス業	インターネット関連サービス業	その他	
1	横山町	7	6	1	4	18
2	東町	2	2	0	3	7
3	旭町	2	2	0	1	5
4	中町	2	1	0	4	7
5	明神町	11	6	0	6	23
6	新町	1	1	0	0	2
7	子安町	9	7	0	3	19
8	三崎町	1	0	0	0	1
9	寺町	0	1	0	0	1
10	南町	1	1	0	0	2
11	万町	0	0	0	0	0
合計		36	27	1	21	85
構成比(%)		42.4	31.8	1.2	24.6	100.0

### 第3章 ソフト系 IT 企業調査の要約

#### 1 モデル地区内 IT企業と先進 IT企業との比較

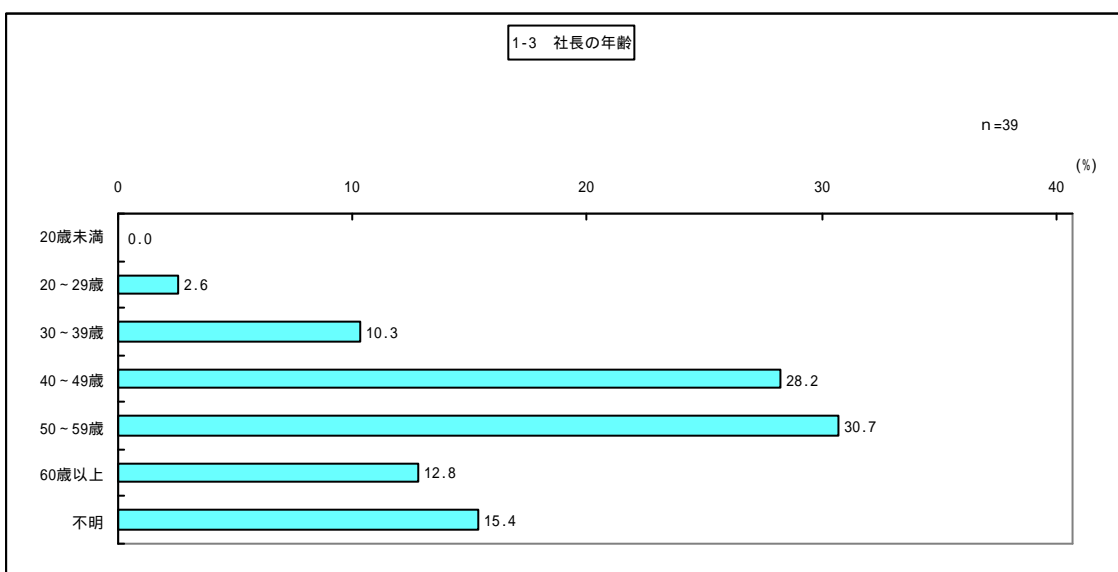
##### 1.1 経営者の年齢

###### モデル地区内の IT企業経営者の年齢は、40～50代が中心

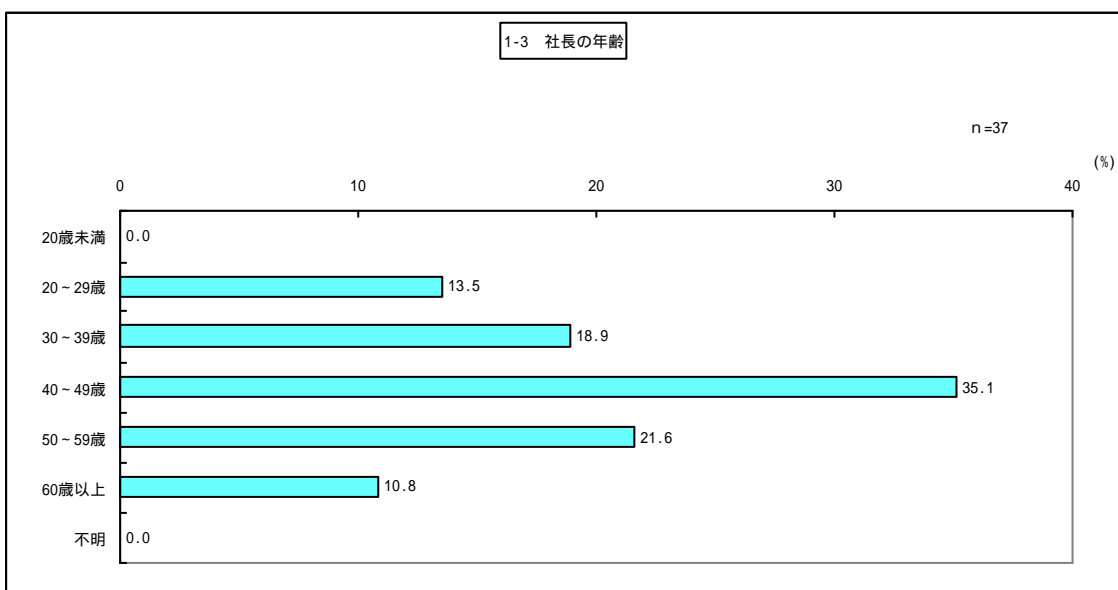
モデル地区内 IT企業の経営者は、40～50代が中心で、約60%を占める。その中で特に、50代が30%と高い割合である。ヒアリングによると、経営者は大半がソフト会社勤務やメーカー勤務後独立し実社会にて実務経験を積んで起業している。インターネットの企業は少ないが企業経営者は、20代である（図表 1 - 1）。

一方先進 IT企業の経営者は、40代が約35%と高い割合である（図表 1 - 2）。

図表 1 - 1 モデル地区内の IT企業経営者の年齢状況



図表 1 - 2 先進 IT企業経営者の年齢状況



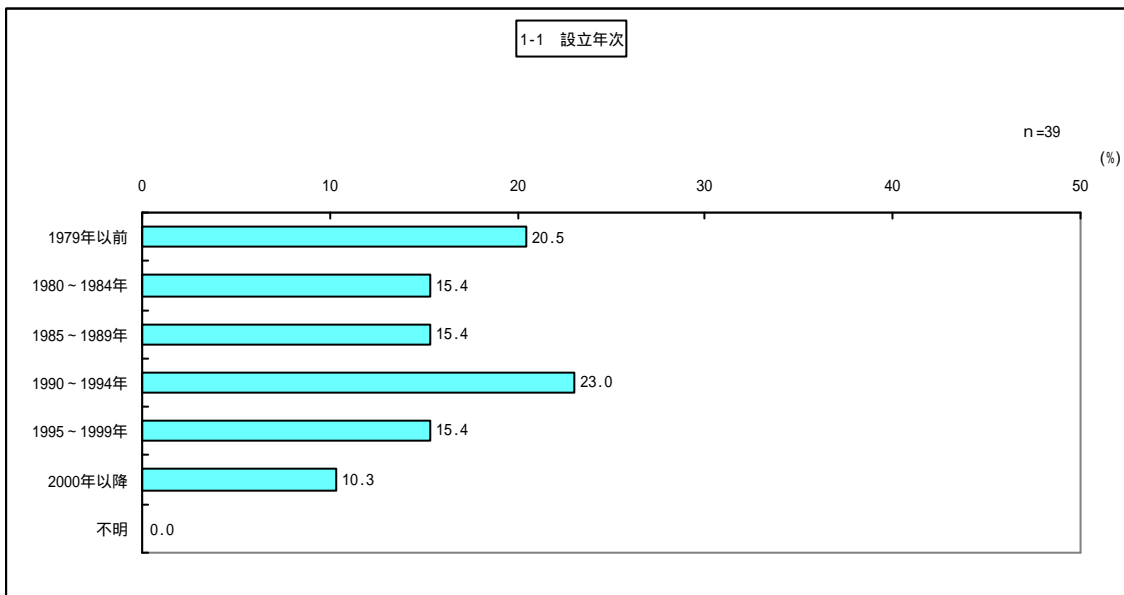
## 1.2 設立時期

### モデル地区内のIT企業の設立は、1990年以前が半数以上

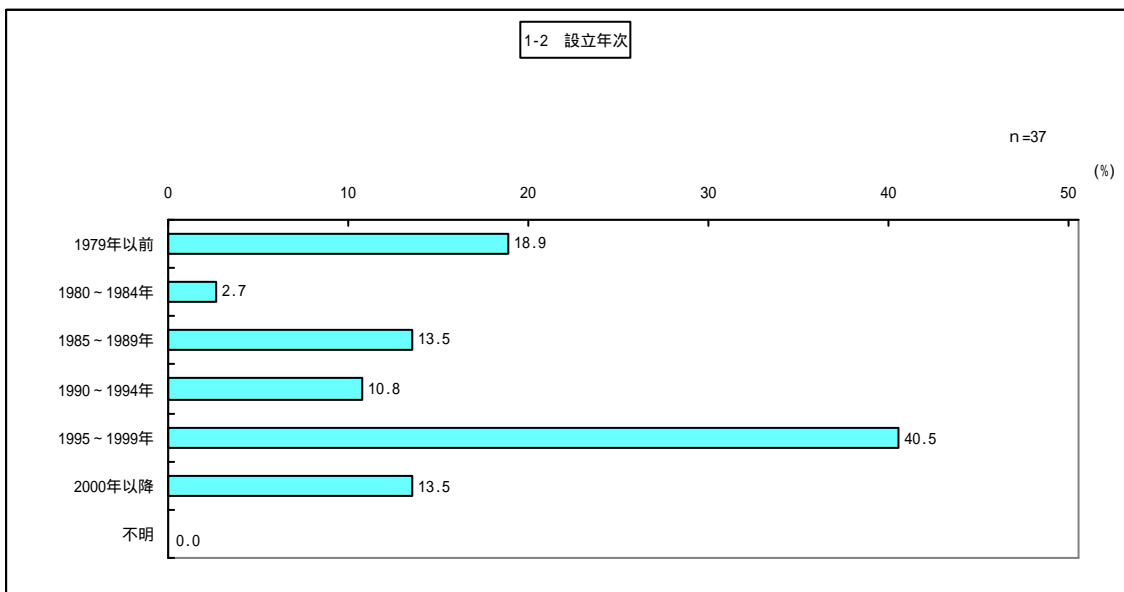
モデル地区内IT企業は、1990年以前のバブル経済期以前に設立された企業が半数以上を占めている。企業の旺盛な情報化投資時期に操業しており業歴は長い。その中で特に、いわゆる「バブル崩壊時期」の「1990～1995年」の設立でも23%と高い割合である。(図表 2 - 1)。

一方、先進IT企業では、近年(1995～1999年)の設立が約40%と高い割合である。インターネット技術の発展に合わせて設立した企業が多いためであろう(図表 2 - 2)。

図表 2 - 1 モデル地区内のIT企業設立年次状況



図表 2 - 2 先進IT企業設立年次状況



### 1.3 年商規模

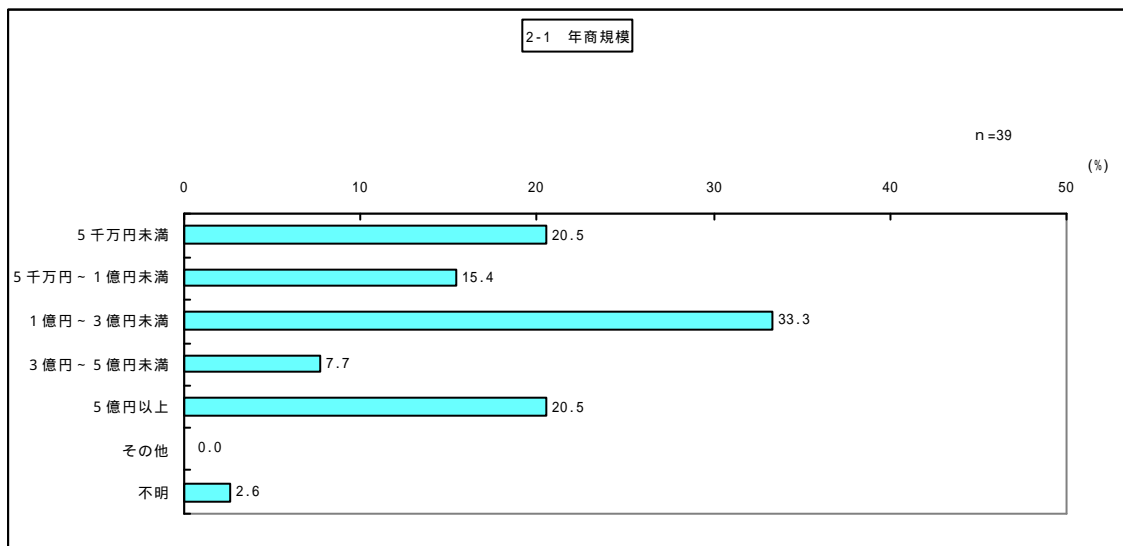
#### モデル地区内のIT企業の年商規模は、1億円以上が60%超

モデル地区内のIT企業は、年商規模1億円以上の企業が60%を超えている(図表3-1)。ヒアリングによると、企業の事務処理等業務合理化のシステム開発やデータ入力処理等を手掛けているIT企業が多い。取引先も大手企業、大手コンピュータメーカー及び大手ソフト会社が多く、開発期間も長かつ開発規模も大きいという。しかし、取引先数は比較的少なく、受注方法も「先方からの直接発注」という取引先からの継続的な受注が多い。

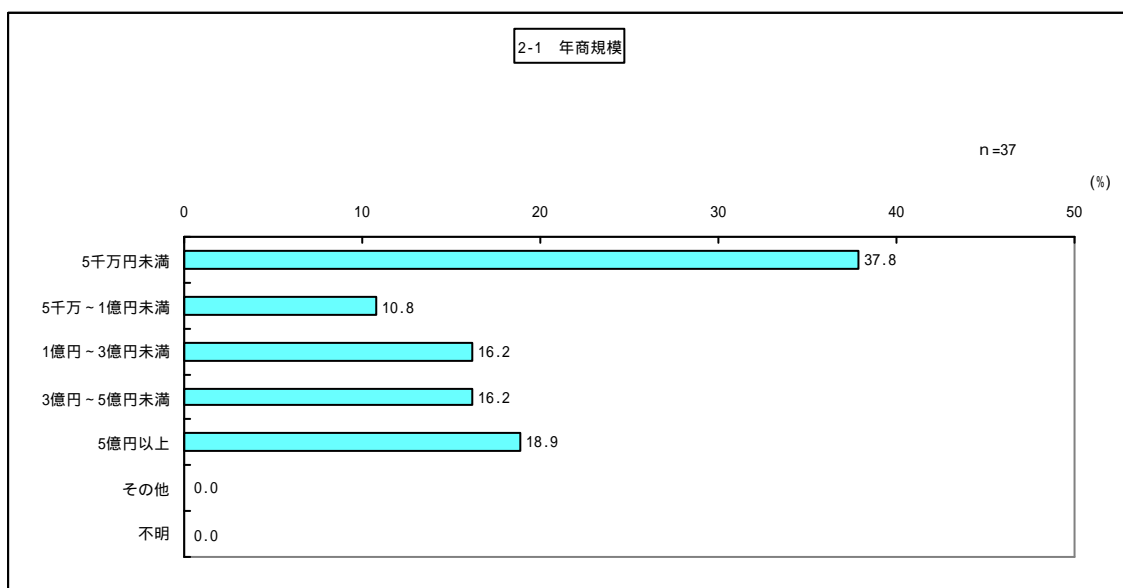
また、ここ直近3カ年の売上、利益傾向は、3業種とも全体的に伸びている企業が多い。

一方、先進IT企業でも1億円以上が約50%を占めるが、「5千万円未満」が約40%を占めるなど2極化している。受託ソフト開発やネットビジネスを主にしている事業とホームページ製作等の周辺事業を主にしている事業規模の差であろう(図表3-2)。

図表 3 - 1 モデル地区内のIT企業年商規模状況



図表 3 - 2 先進IT企業年商規模状況



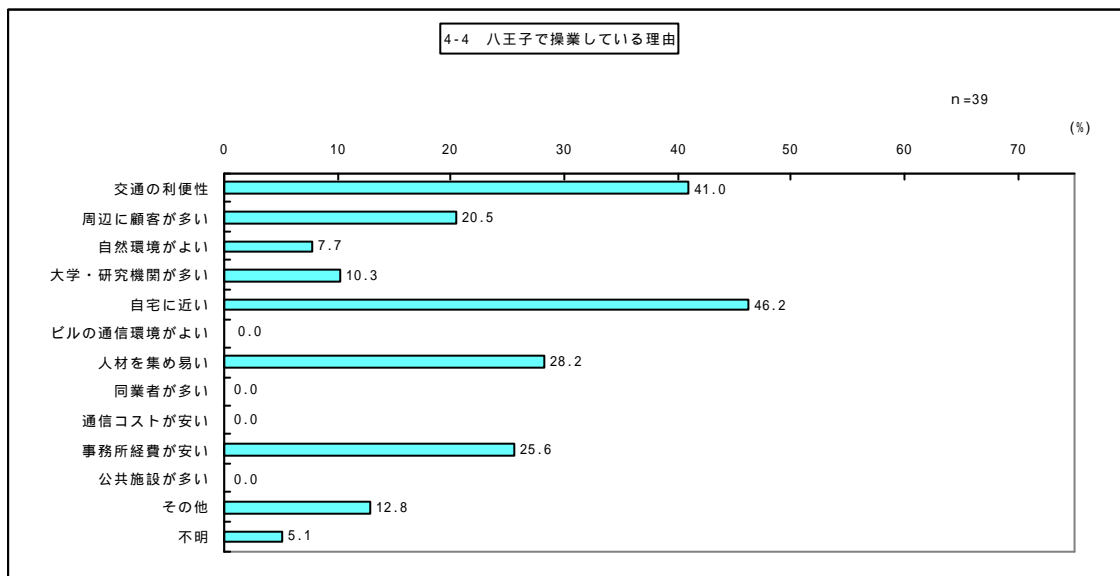
## 1.4 立地特徴

### モデル地区のIT企業では、職住接近が立地の重要要因

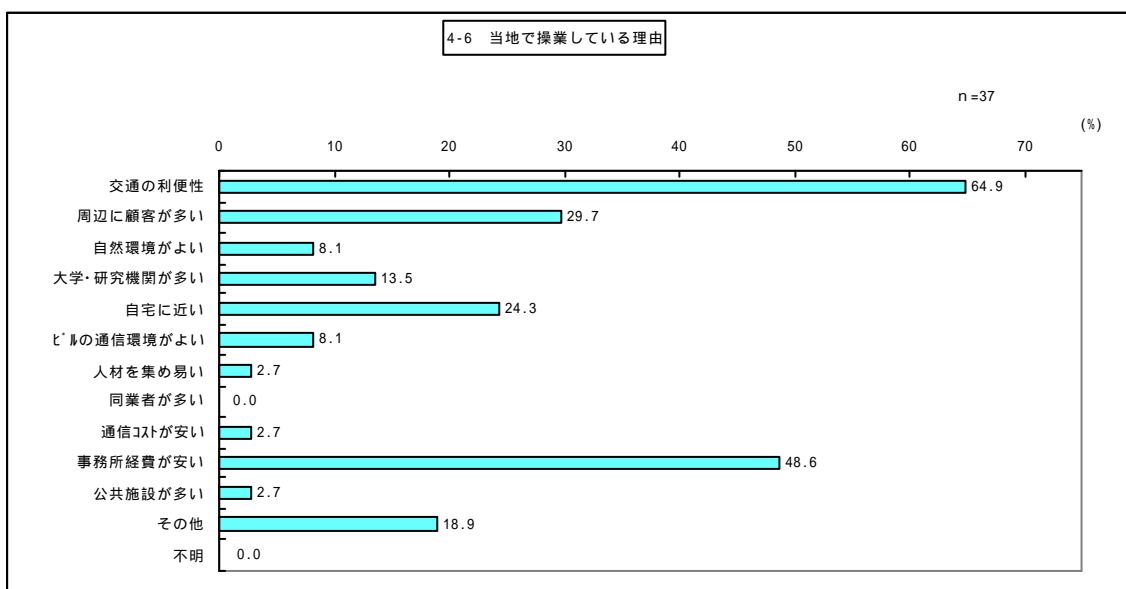
モデル地区内IT企業は、経営者及び社員の大多数は、地元出身者が多く「自宅に近い」が重要な要因となっている。ヒアリングによると、ソフトウェア業の中には、取引先で開発を行うことが多い。取引先地域が市外（都区内、多摩地域）で約70%と多いため「交通の利便性」も同様に評価を得ている。また、「人材を集めやすい」という要因も約30%と、先進IT企業に比べて高い割合である。ヒアリングによると、近隣市外の大手コンピューターメーカーや大手ソフト会社で働くソフト技術者の転職希望者が多く、即戦力となる技術者は比較的集めやすいという（図表 4 - 1）。

一方、先進IT企業は、地域性はあるものの「交通の利便性」が最も大きい重要要因であり、ついで「事務所経費は安い」となっている（図表 4 - 2）。

図表 4 - 1 モデル地区内のIT企業の立地要因状況（複数回答）



図表 4 - 2 先進IT企業の立地要因状況（複数回答）



## 1.5 社内・社外コミュニケーション環境

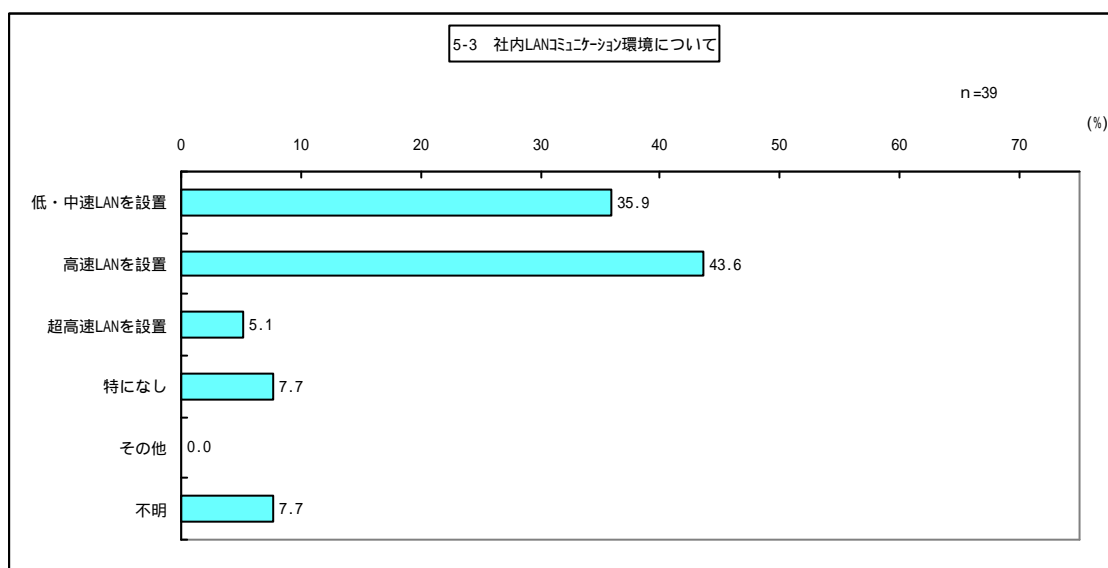
### (1) 社内コミュニケーション環境

#### 社内インフラ整備は充実

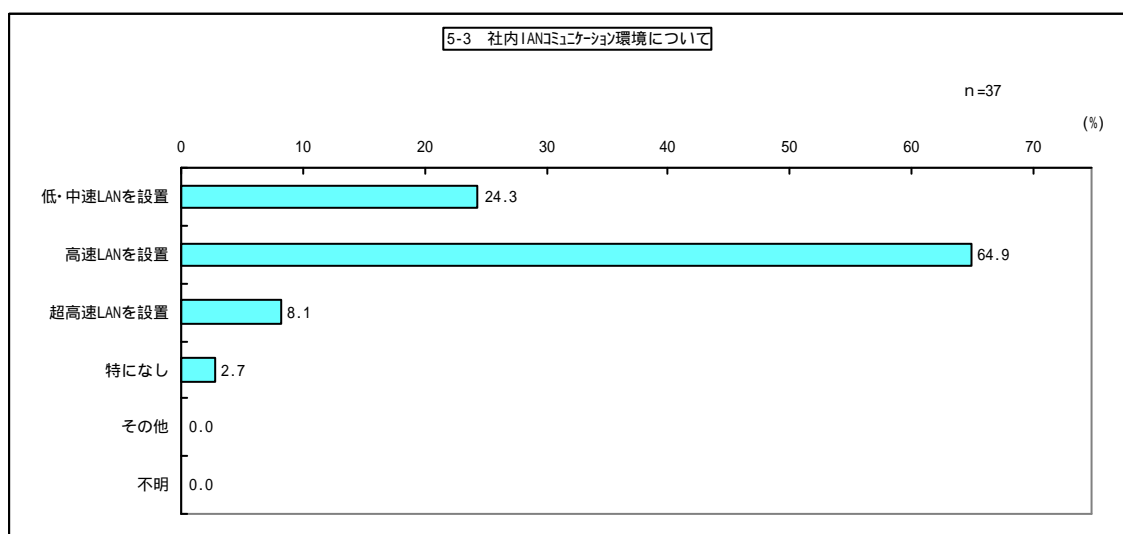
モデル地区内のIT企業では、社内LANコミュニケーション環境整備は、伝送速度に差はあるものの全体的にはほぼ整備されている。ヒアリングによると、活用は社内事務処理、社内伝達及びドキュメント関連の情報データ共有化などである（図表 5 - 1）。

一方、先進IT企業でも、社内コミュニケーション環境は同様に整備されている。その中で特に、「高速LANを設置」の割合が高い（図表 5 - 2）。

図表 5 - 1 モデル地区内のIT企業の社内LANコミュニケーション環境



図表 5 - 2 先進IT企業の社内LANコミュニケーション環境



(注) 図5 - 1 及び図5 - 2 のLANの伝送速度分類は、下記のように想定した。

低・中速LAN (数 Mbps ~ 20Mbps)、高速LAN (100Mbps ~ 数百 Mbps)、超高速LAN (1 Gbps ~ )。

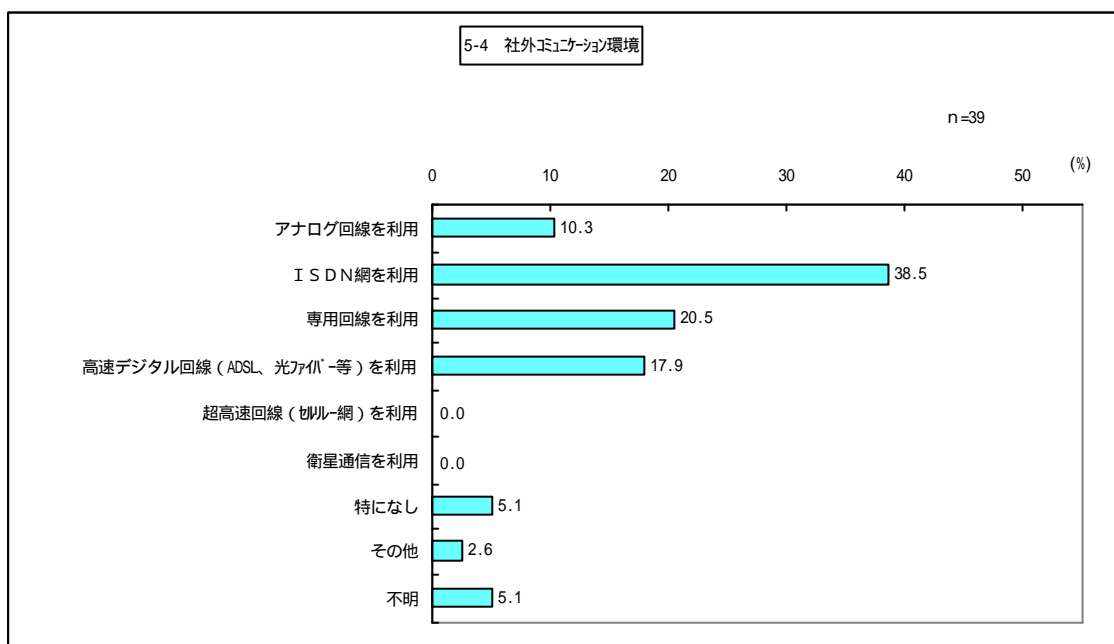
## (2) 社外コミュニケーション環境

### 社外インフラ整備 (高速デジタル回線) は今後

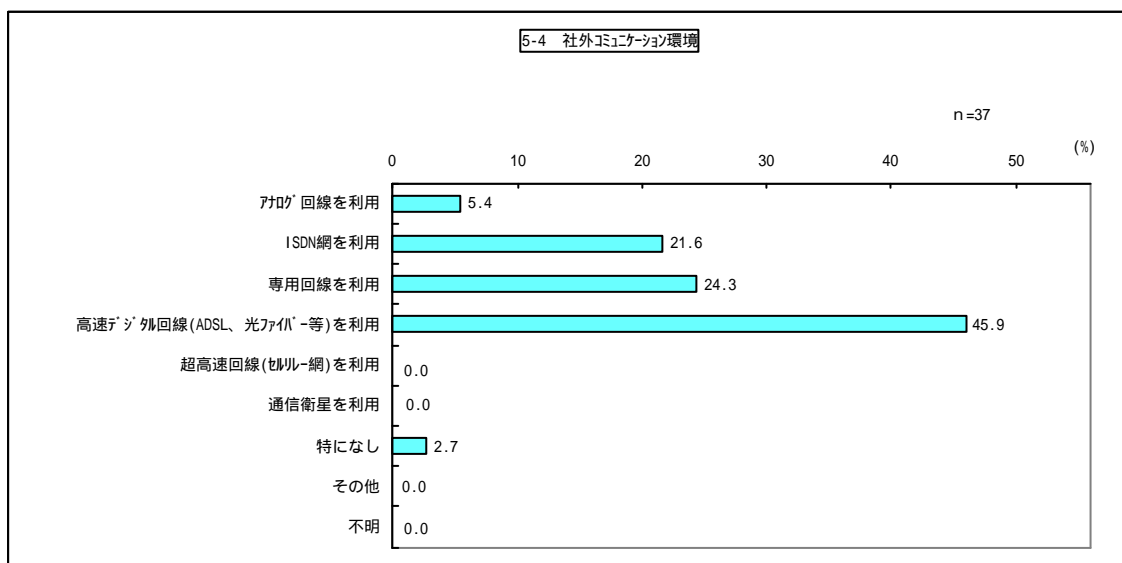
地区内IT企業では、社外コミュニケーション環境整備は、ほぼ整備されている。現在「ISDN網の利用」が主である。ヒアリングによると、客先との事務連絡や客先にて開発している社員との連絡用として活用しており、ネットビジネスなどのような高速な性能が要求されていないためである(図表 6 - 1)。

一方、先進IT企業では、「高速デジタル回線(ADSL、光ファイバー等)を利用」が高い割合である。これは、昨今のADSLの普及や、ネットビジネス事業者が多いためであろう(図表 6 - 2)。

図表 6 - 1 モデル地区内のIT企業の社外コミュニケーション環境



図表 6 - 2 先進IT企業の社外コミュニケーション環境



## 1.6 公的支援ニーズ

### (1) 経営効率向上策について

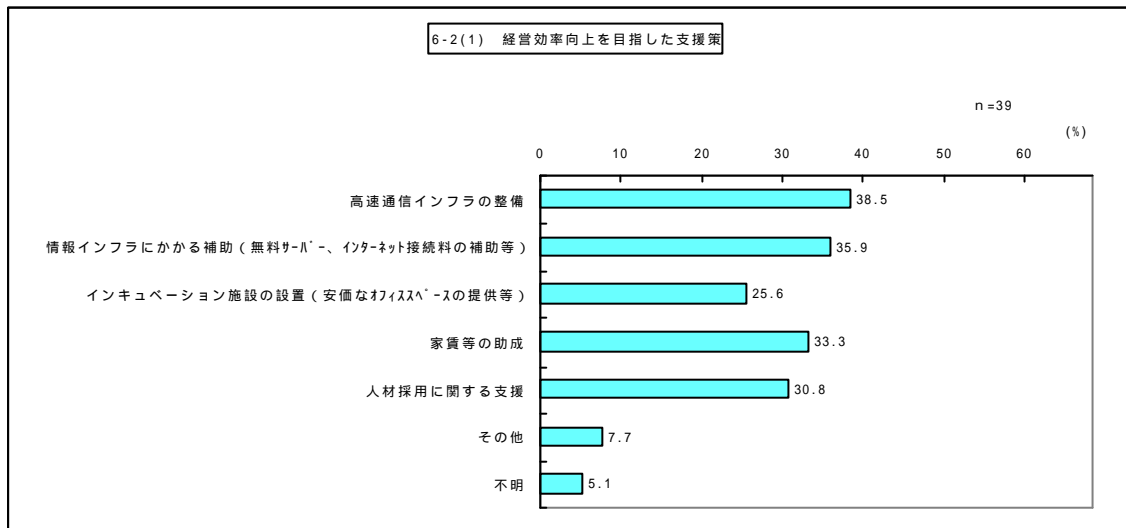
#### 高速通信インフラの整備への要望が大

(1) 経営効率向上策としては、

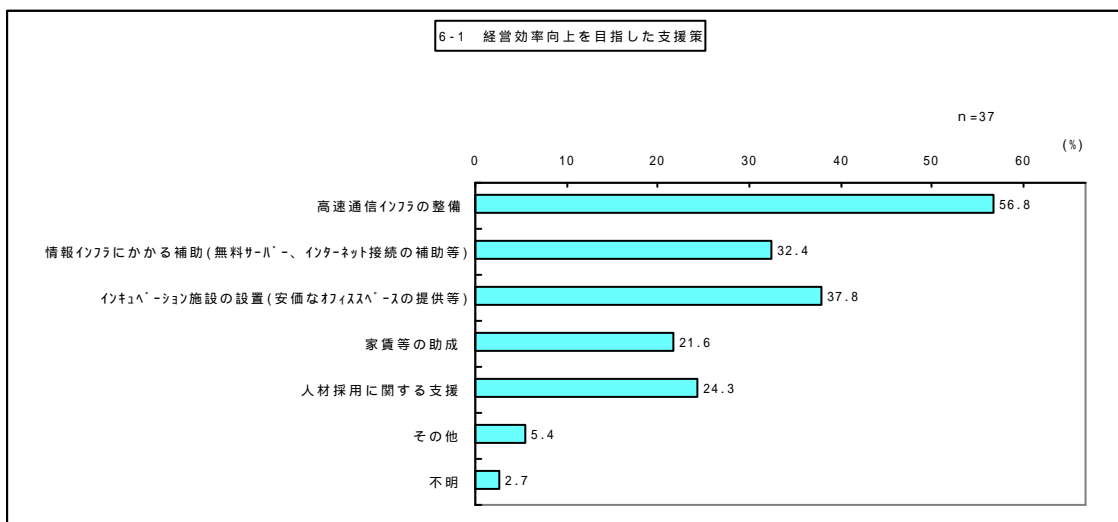
モデル地区内IT企業は、「高速通信インフラ整備」や「情報インフラにかかる補助(無料サーバー、インターネット接続料の補助等)の要望が約40%と高い割合である。ヒアリングによると、今後の情報化技術の進展に伴い分散したソフト開発、システム運用のリモートメンテナンス等のシステム運用の変化に対応するためであり、それには通信技術が最も重要であり、アクセススピード、セキュリティ性能向上などで通信網の整備と高性能なサーバーなどの整備が必要となってくるためである(図表7-1)。

一方、先進IT企業では、同様に「高速通信インフラの整備」の要望割合が際立っている(図表7-2)。

図表 7 - 1 モデル地区内のIT企業の経営効率向上策への要望(複数回答)



図表 7 - 2 先進IT企業の経営効率向上策への要望(複数回答)



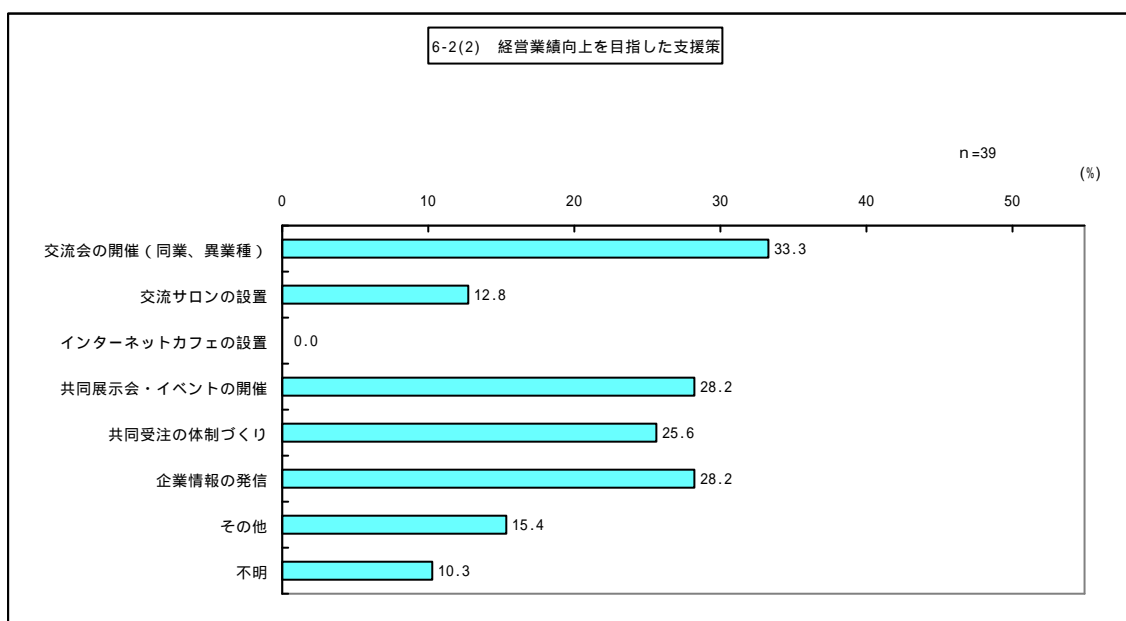
## (2) 経営業績向上策について

### 交流会開催、企業情報発信への要望が大

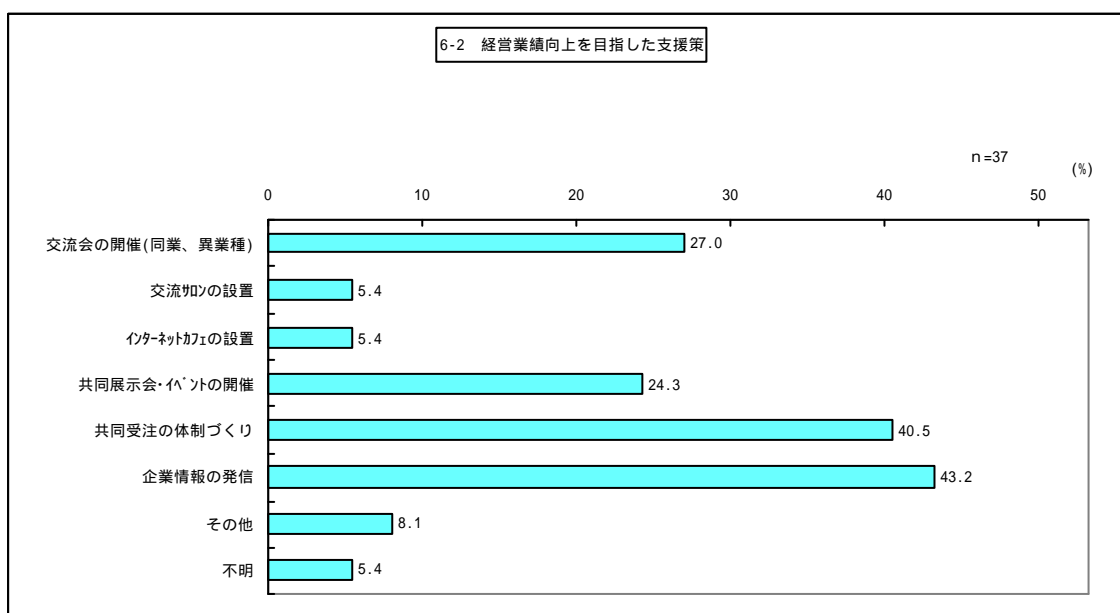
モデル地区内IT企業は、「交流会の開催（同業、異業種）」の要望が約30%と高い割合である。ヒアリングによると、互いに同業・異業種との交流会を通しての技術情報交換や受発注・協同開発の可能性等幅広い活動をしたいというニーズがある。関連して「共同展示会・イベントの開催」や「企業情報の発信」への要望も約30%と高い割合である。これまで、企業独自で種々の活動をしてきているが、コスト面、PR拡張面及び運営人材面などから大手と対抗するには限界があるためである（図表 8 - 1）

一方、先進IT企業では、「協同受注体制」、「企業情報の発信」の要望が各々約40%と高い割合である（図表 8 - 2）

図表 8 - 1 モデル地区内のIT企業の経営業績向上策への要望（複数回答）



図表 8 - 2 先進IT企業の経営業績向上策への要望（複数回答）



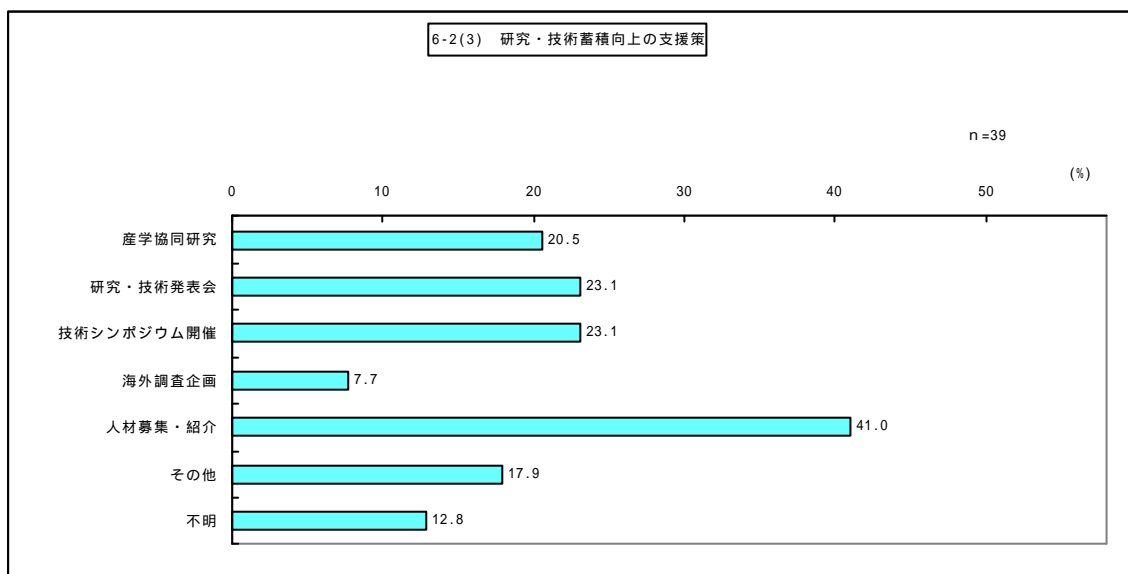
### (3) 研究・技術蓄積向上策について

#### 人材募集・紹介への要望が大

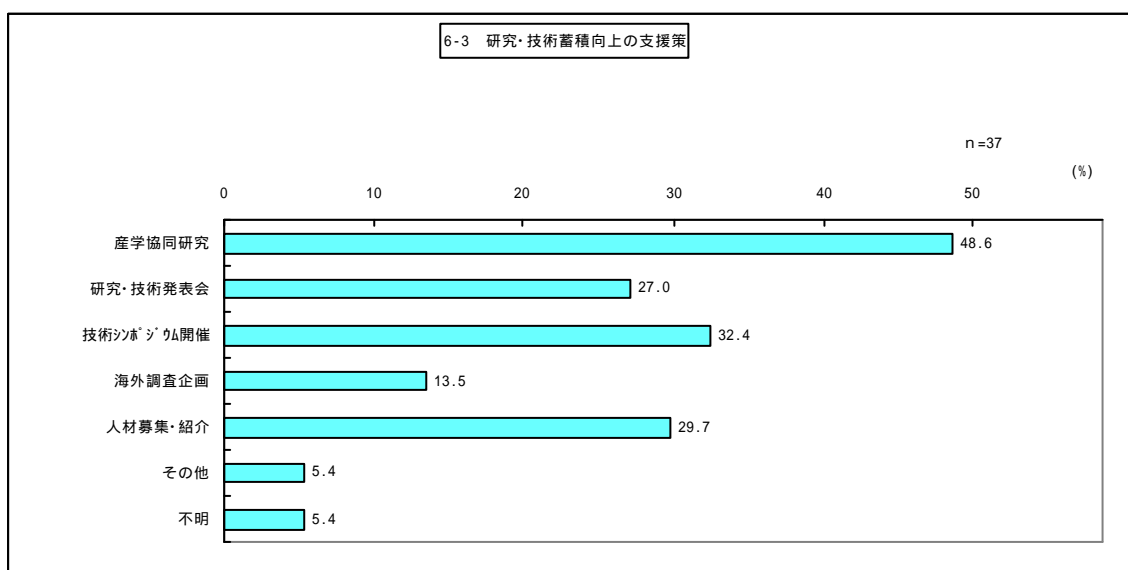
モデル地区内IT企業は、「人材紹介」への要望が約40%と高い割合である。ヒアリングによると、新しい開発言語技術、インターネット技術、セキュリティ技術、システム構築技術等へのニーズが高く、システム開発規模が大きくなつて複雑化してきているため新たな技術が必要になってきている。また、インターネット技術を用いたいろいろなシステムや商品が期待されており、これらに対応でき、即戦力と成りうる技術者が求められているためである。八王子市内の多くの大学や専門学校の学生も含めて、今後の人材の募集・紹介の対応支援に関する要望が多い(図表 9 - 1)。

一方、先進IT企業では、「産学協同研究」の要望が高い割合である。「人材募集・紹介」への要望はモデル地区内IT企業に比べると低い割合である(図表 9 - 2)。

図表 9 - 1 モデル地区内のIT企業の研究・技術蓄積向上策への要望(複数回答)



図表 9 - 2 先進IT企業の研究・技術蓄積向上策への要望(複数回答)



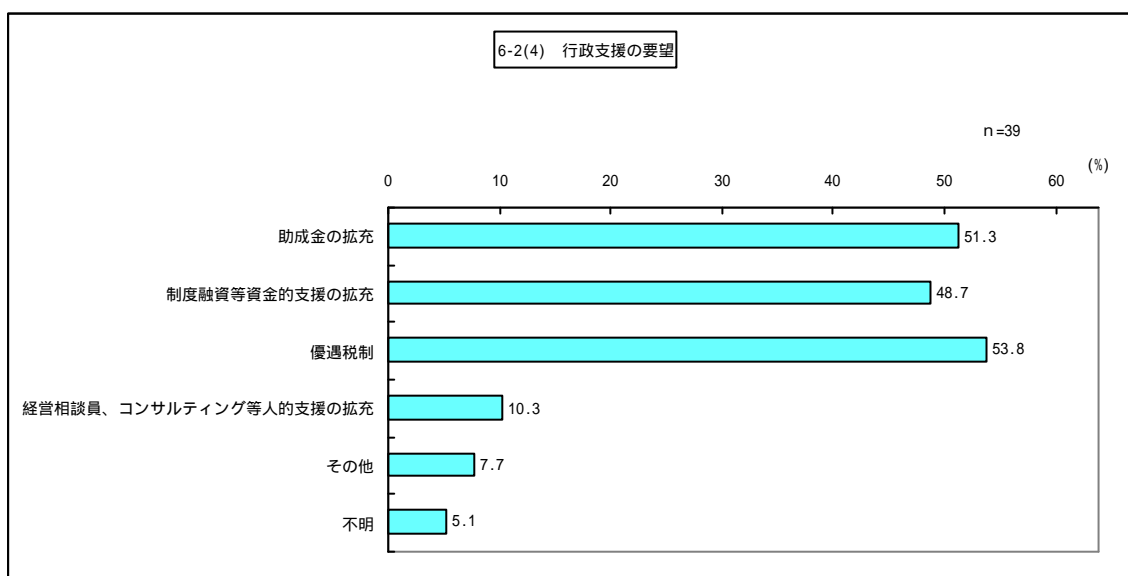
#### (4) 行政支援策について

##### 税制 助成金等の資金的要望は50%

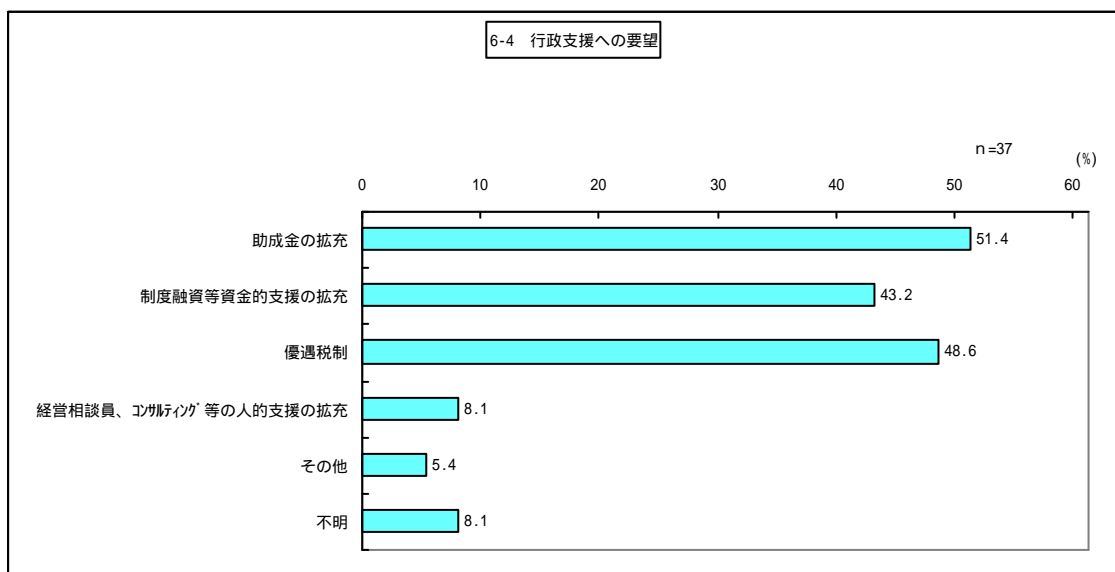
モデル地区内IT企業は、「優遇税制」、「助成金の拡充」及び「制度融資等資金的支援の拡充」がほぼ50%と要望が高い割合である。ヒアリングによると、「首都圏情報産業特区・八王子構想」の推進にあたり、これらの行政支援策を情報産業の特徴から、より使いやすいものに改善して欲しいという要望である。また、助成金等の支援については、培ってきた技術やアプリケーションノウハウを駆使してパッケージ等の新たな商品の開発を行うために支援して欲しいというニーズが出ている（図表 10 - 1）

一方、先進IT企業でも同様に、ほぼ同じような行政支援策とその要望が高い割合を示している（図表 10 - 2）。

図表 10 - 1 モデル地区内のIT企業の行政支援への要望（複数回答）



図表 10 - 2 先進IT企業の行政支援への要望（複数回答）



## 1.7 モデル地区内IT企業のアンケート調査における自由意見

アンケート調査で、回答者から得た「自由意見」のまとめを整理し、以下に示す。

<八王子IT企業調査による自由意見一覧>

NO	内容
1	早急に実施することが大事だと思う。(来年の4月からなど)
2	活性化するには仕事を取ってきて売上を上げることだと思う。この八王子地域以外(都内)から仕事を引っ張ってこないとならない。 次に取ってきた仕事をどうこなすかで業者間での情報交換や学生の活用を考えるべきだ。 都区内の会社から見ると、八王子はすごく遠くに感じていると思う。実際は電車でそんなに時間がかからないのに。そんなに遠くないということアピールするとよい。 上記、のための交流会の場が必要。インターネットもよいが実際に会って話の出来る場が欲しい。 インテリジェントビルにして多くの無駄なお金を使う必要はない。 ADSLで十分でADSLはどこでも引ける。 商工会議所でやられるのであれば、我々業者の意見を聞いて予算を無駄なく、有効に使って欲しい。
3	ソフトウェア中心の動きのように思える。八王子には能力があり、小回りのきく、中小の加工業者が多数あり、このような基盤を活かしたハードウェア面での動きも期待している。
4	産業復興を目指すなら、大企業を駅周辺に積極的に誘致するような施策を立てたらいかがでしょうか。たとえIT産業でも利便性は重要ですから。 (ITだから僻地でもいいというのは大間違いだと思います)また大企業を呼ぶことで、中小の企業も集まってくるのではないのでしょうか。 ところで余談ですが、八王子の行政は失望させられ続けています。古くからの商人や役人の都合で税金が投下され、住民や消費者のことはあまり考えてないように見受けられます。例)・十分に機能していない駅前の薄暗い地下駐車場・あれだけ人の往来が多いのに八王子 京王八王子間にいまだに地下通路がない。(雨の日に大勢の人が傘をさして歩いているのを見ると悲しくさえなります)・今さら八日町~横山町の開発をする無意味さ これでは消費者が他にいくのは当然の帰結なのかもしれません。また消費者ばかりでなく企業の支社なども八王子から消えていく(すでに消えている?) ような気がしてなりません。
5	織物の町八王子に代わり、情報産業の町八王子を目指すやり方として 八王子市内の情報産業(情報系企業)の真の活性化と売上拡大(雇用拡大) 市街の情報系企業が八王子に集まり情報産業拠点となる これらを目指した場合、下記の項目を提案します。 八王子市役所を先頭に市内の公的関係部署のソフトウェア需要を掘り起こし、市内の情報系企業に直接発注出来る環境と機会を作る。(市内の情報系企業は中小零細がおおいはず、それらの多くは大手企業からの受注や下請けとして仕事していることが多く(八王子に限らずですが)、独自の技術力を培う環境及び利益の得る環境にはありません。) 八王子市として先進技術を含むシステムを構築し、それを市内の企業に直接発注する。 情報系企業に対する優遇税制(行政支援要望として出ておりましたが)。 但し優遇のポイントはその企業内在社の八王子市民の人数に関係するようにする。
	上記項目を基本市制とする事を明言し、そのことを広く宣伝する。 情報系企業に落とす金は、基本的にはその企業の人件費に費やされるのがほとんどですから、市のお金が市民や市内企業にて消費される事となり有効に回転すると思われれます。
6	ぜひ実現させて下さい。

## 1.8 先進 IT企業のアンケート調査における自由意見

アンケート調査で、回答者から得た「自由意見」を整理し、以下に示す。

### <先進 IT企業調査の自由意見>

NO	内容
1	IT支援といっても規模・業種によって実に様々です。当社ではSohoの実態調査をおこなっており、痛感しています。あらゆる業種でのIT化が進められるべき状況においては、すでにIT業者プロパー向けのみ等ではすぐに行き詰まることは目に見えています。すでにTopRummer方式でのIT推進は、ここ数年で行き場を失っています。今必要なのは既存の産業分野でのIT化であり、そのためのサポート体制を組み立てることです。またそのための人材は充分足りています。「情報産業」というくくりでそこだけインフラを整備しても...。ところでこのようなアンケートをペーパーベースですというのかなり遅れていると思いますがいかがでしょう。アンケートぐらいはネットで答えてもらうべきでしょう。紙ベースで送るような会社では...情報化の意識が遅れていると判断せざるを得ません。
2	まとめた結果をインターネット上などで公表して下さい。
3	IT支援といっても、形だけにとらわれているのが現状。特にベンチャーにとって融資という考え方そのものが間違っている。投資制度的なものでないとベンチャーそのものの育成は不可能です。産業実態というか本質が見えていない施策は無意味だといえます。
4	福島県の企業経営者の意識改革が急務と思われます。スキルが低すぎます。(県民の情報リテラシーの)
5	2002年度より、県が設置するギガネットへの動画制作の計画があります。本来の事業は、テレビ制作、CMの制作業務ですので回答できない質問も含まれていましたので可能な部分のみ記入しています。
6	当県の場合、旧通産省出身の知事がベンチャー育成としてフロシキを広げているが(一部の有識のアドバイスだろうが)、地に足のついていないイベントばかり。最近、県の仕事を行ったが、手続きの多さ、何よりも実績重視の対応には驚いた。貴市におかれましては、このようなことのない様、心より願っております。
7	このプロジェクトに是非参加させて下さい。

## 2 モデル地区内 IT企業のヒアリングのまとめ

アンケート調査にて回答を得たIT企業の中で、特区内で操業している企業へのヒアリング結果を業種別に整理し、以下に示す。

### 1 【ソフトウェア業】

項目名	ヒアリング内容
人材採用	<p>人材は不足している。業務とのミスマッチである。</p> <p>情報処理技術資格を持つ社員は多い。最初は営業にプラスし信用に役立った。最近はそのほどでもない。</p> <p>情報処理技術者は多いが、資格と仕事は結びつかない。中途採用でも未経験者を教育したほうが早い。</p> <p>八王子市内の専門学校への求人をし、定期採用している。大学生はゲームやマルチメディアなど華々しいことに興味を持ち地味な仕事は敬遠しがちである。</p> <p>市内の学校等の情報は提供しているが、採用は一括本社人事部が実施している。</p> <p>現在はすべて親会社が採用している。大学との接触も親会社が実施。市内の大学、専門学校を1～2校決め定期採用している。また、技術的能力と協調性があれば高齢者でも採用したい。</p> <p>リクルートの募集はコストが高すぎるため極力活用していない。</p> <p>特殊な技術なので知人・同業者からの紹介が主。</p> <p>新卒は言語技術取得者が多い専門学校から採用している。</p> <p>社長も八王子市内の大学出身なので、出身大学から定期採用している。定期採用は、多摩地区、八王子、都内の大学へ募集。米国COMDEXには毎年2名交代で視察にいかせている。</p>
受注方法	<p>セミナーなどの受講者よりの発注</p> <p>操業して日が浅いので独立前の関係メーカーより依頼。今後は人材を育成して取引先の開拓を考えていく。</p> <p>取引先に特化しているので先方から直接発注がある。</p> <p>親会社からの直接発注</p> <p>客先の紹介による受注。</p> <p>同業者の横のつながりからの紹介</p> <p>先方からの直接受注</p> <p>副社長が営業に専念。取引先とのネットワークによる紹介が多い。八王子市内の営業開拓はできていない。現状の仕事で手一杯。</p> <p>知人・同業者からの紹介や仕事のつながりからの紹介が多い。またパッケージ商品等は委託販売をしている。</p> <p>自社営業、直接受注、提案・入札など</p>
通信環境	<p>インテリジェントビルは必要ない。ADSLはどこでもひける。</p> <p>超高速LAN（光通信）を設置</p> <p>取引先の情報、データ等の送受信の手段として重要</p> <p>取引先の情報、データ等の送受信の手段として専用線を敷設している。</p> <p>親会社とは専用線で通信を行っている。</p> <p>社外環境は、社員との連絡用（メール等）に使用。</p>
経営効率向上策について	<p>交流会の開催。税金の無駄使いはしないで欲しい。</p> <p>質問項目のような税金の無駄使いはやって欲しくない。</p> <p>八王子の市立・市営のソフト需要をオープンにして欲しい。また教育機関のコンピュータ利用の場を拡大して欲しい。</p> <p>人材採用の支援は欲しい。民間の適職フェアなどはコストが高く当社</p>

項目名	ヒアリング内容
	<p>規模では何度も参加できない。人材は欲しい。 コスト削減から安価なオフィスの提供。特殊な技術なので人材採用の支援が必要。 未経験者を採用し教育して現場に出す。その間、大体3ヵ月位は収入にならないので、その期間中の給与の補助をしてもらいたい。 即戦力となる人材採用支援が欲しい。地元大学とのパイプがないので支援して欲しい。 人材採用の支援は欲しい。特殊な技術なので種々の人材が必要である。東京農工大のようにキャンパス内にベンチャー企業の設立を可能にする施設があってもおもしろい。 高速のインフラ整備はありがたい。技術進展に伴ってインフラの維持管理をキチンとやって欲しい。 インフラ整備の補助があればありがたい。 インフラの整備、八王子のCATV網を活用する。</p>
経営業績向上策について	<p>核となる人（企業）を中心に企画販売する共同受注体制を作りたい。商工会議所でぜひ考えて欲しい。 人材採用に関し、格安で企業合同説明会の実施。 質問項目のような税金の無駄使いはしないで欲しい。 市のソフト需要の掘り起こし。学校や企業の需要の創造と発注。 商工会議所にもイベントなどミスマッチがない様に具体的な提案が欲しい。 地域で活動する場合どうしても多くの仕事を確保する必要がある。したがって、共同受注体制や交流会等の活動は必要である。ただし、利害がからむので難しい。 八王子市内の仕事を発掘する目的から交流会等が必要 特殊な製品も販売しているので「企業情報の発信」などの場が欲しい。 実利的で魅力があるのであれば参加したい。自社開発製品を行っている企業なら「イベント」等の支援を得ていることで効果はある。 共同受注体制がとれれば、各社所有の技術や人材の相互活用で大きな仕事をこなすことが可能ではないか。しかし、利害関係がからむので強いリーダー的人材が必要。 人材や企業調査等、八王子市および近辺にどのようなものがあるのか知り合うことが大事である。いろいろ調査・紹介された結果、八王子の企業であったなどがある。 コミュニティに顔を出して刺激を受けたい。イベント「ワールド」など面白いのではないかと。特にパッケージを作っている企業はメリットがあるのでは。 パッケージ商品も扱っているので共同展示会や共同受注体制などはよい。都心の幕張などのイベントはコストが高く大手との競争で大変である。 八王子市内の行政、民間の仕事をとるために交流会、企業情報の発信などの場は必要。</p>
研究・技術蓄積について	<p>海外調査の企画 受注に結びつく新技術の創造と新システムの提案 大学に実行ある開発があればよいが。 大学とのコンタクトがないので今はできていないがやるべきである。 ただし、大学がどのようなことをしているのかもっと知りたい。 研究・技術蓄積等の活動は親会社が実施。それ以上のことが大学であ</p>

項目名	ヒアリング内容
	<p>るなら交流のメリットはあろう。学生等優秀な人材情報は得たい。技術力を持った人の人材の紹介等の情報が欲しい。J A V A、インターネット等の新しい技術言語の取得では民間の教育は金が高い。有償でもよいから安く教育するなどの支援が欲しい。</p> <p>業務A Pは大体出尽くしているので、新商品/新ソフト技術開発等を産学共同で行いたい。また、技術力のある人材の紹介もして欲しい。産学協同研究は事業活動に結びつく実利的なものでないと参加は難しい。</p> <p>時間をかけてR &amp; Dの交流をやってみたい。新しいソフト技術を取り入れたり、商品開発を考えるなどの交流はおもしろいのでは。きっかけがないのでやるべきである。ただし、大学がどのようなことをしているのかもっと知りたい。</p> <p>大学の門戸を開けて人材紹介等はすべきである。</p>
行政支援策への要望	<p>経営相談員の拡充、これから必要になる。</p> <p>研究開発費の補助が欲しい。</p> <p>特区のまとめ役が欲しい。特区活性化の企画書を提出させ、合格すれば助成の対象とする案など。</p> <p>業務に専念できる体制づくり、秘書機能、電話取次機能など組織も必要。資金支援は地元金融機関から案内がある。経営相談員・コンサルティングなど支援の拡充が欲しい。現在は税理士など税金についてアドバイスを受けている。</p> <p>中小企業の助成金を使ったことがあるが、申請等非常に大変であった。手間暇がかかりすぎる。活用にあたっては手続きや途中の書類の作成等提出支援してくれる人や代行業者などが必要ではないか。</p> <p>企業としての助成や融資等は親会社が行うことであろうが、このような構想実現で、参加企業にはいろいろな資金支援策は必要であろう。</p> <p>教育期間中の給与の補助</p> <p>I Tの進歩に応じた設備（U N I Xマシン、ネットワーク等）は高価である。補助や融資等が欲しい。また、商品開発や経営拡大、社員の高齢化に伴う人材活用などコンサルティングしてくれるような支援が欲しい。</p> <p>研究開発型の企業に対しては、新しいテーマ開発のために優遇税制があってもよいのではないか。</p> <p>R &amp; D開発に関する融資や補助があるとよいと思う。</p> <p>商品開発等の補助や融資が欲しい。いまでもいろいろな支援策があるようであるが非常に使いにくいと聞いている。以前「システム」開発で助成を受けたことがある。</p> <p>人材育成や新卒教育等への融資あるいは補助</p>
その他	<p>都区内の会社から見ると、遠いという印象である。近いという宣伝をもっとすべきである。</p> <p>雇用形態も変わって、今後労務費は安定しない。</p> <p>「首都圏情報産業特区・八王子」構想について、当社にとってのビジネスチャンスがどのようなものがあるか知りたい。まだ具体的な内容でないので報告できないでいる。</p> <p>I T業界の不況で、各社とも自社内、関係各社等との仕事のやりくりが多い。今後はなかなか外部に仕事が出せなくなるのではないか。</p> <p>そのため、構想の実現として八王子市が活性化する施策を行うことが大事である。</p> <p>建築関係のソフト開発を行っていたとき、ユーザが倒産。「経営安定支</p>

項目名	ヒアリング内容
	<p>援資金融資」を受けて難を乗り切った経験がある。</p> <p>商工会議所の部会に「情報部会」などの新しい部会を設け、関係会社への専門的な活動があればよいのではないか。</p> <p>八王子市のIT企業をHP（ホームページ）に登録し、その登録企業に対して信用保証的なことを商工会議所、市が行う。</p>

## 2 【情報処理サービス】

項目名	ヒアリング内容
人材採用	<p>八王子市内の新聞の折込みにて採用している。</p> <p>地元大学生のバイト応募も多い。</p> <p>社員はこの地域の人を採用するよう心掛けている。</p> <p>データ入力処理等の作業なので取りたてて採用基準を設けていない。</p> <p>大学の学生等は、パソコンスクールの学生ともなるので接触する必要はある。</p>
受注方法	<p>長い取引関係での先方からの定期発注</p> <p>自社営業</p>
通信環境	<p>社内は低・中速LANであるが、社外取引先とのデータ送信に高速あるいは専用線を活用している。</p>
経営効率向上策について	<p>高速情報インフラ（太く、早い、光通信の充実）、八王子のテレメディアの活用。</p> <p>家賃などの助成。</p> <p>情報処理の事業なので、インフラの整備、補助はありがたい。</p>
経営業績向上策について	<p>市のHP（ホームページ）に企業情報を載せて欲しい</p> <p>学生を呼び込み、年に1～2回顔を合わせる事が重要である。</p> <p>共同受注体制（企画販売）づくりは、人材が必要。</p> <p>現在は下請けが多く、大きなところは持っていかれている。共同受注体制づくりを希望する。</p> <p>企業の知名度を上げるためにも、企業情報の発信など支援がありがたい。</p> <p>なれあいにならなければよい。</p>
研究・技術蓄積	<p>大学との関係は企業説明会へ参加している。例）東京工学院大学大学のインターンシップ制度を受け入れている。</p> <p>産学協同研究といっても、人材交流による信頼関係がベースになる。</p> <p>仕掛け作りが重要である。</p> <p>今後のデータ入力というものの技術進展を知りたい。</p> <p>大学がどのようなことをしているかもっと知らせる必要はある。最近の横浜市大のようなことがあってもよいのではないか。</p>
行政支援策への要望	<p>情報インフラにかかる補助</p> <p>資金的支援の拡充</p> <p>人的支援。経営相談員など</p> <p>入力機器・設備など新しいものは金額が高いために関連する補助や低利融資・税制などの優遇などが欲しい。</p> <p>仕事を出せる大手企業を誘致してそこに税制優遇等を行う方がよいのではないか。</p>
その他	<p>税理士情報によると、子供科学館の機械が古く、八王子はかなり遅れているイメージになっている。</p>

### 3 【インターネット】

項目名	ヒアリング内容
人材採用	新規事業なので知人等の紹介が主
受注方法	営業担当者が、コンビニ、スーパー等へ説明しながら受注活動している。また、コンビニ、書店等へアルバイト募集の広告用小冊子を置き、求人者を募集している。
通信環境	社内、社外の通信環境は高速性を要求されている。
経営効率向上策について	高速のインフラ整備や補助が欲しい。現在求人登録者数が数万人おり高性能のサーバー、高速通信インフラが必要。
経營業績向上策について	交流会やイベント開催などは、PRになりありがたい。現在、学園祭などにはチラシをまいている。
研究・技術蓄積	新しいアイデアや新技術など積極的に取り組んでいきたいので共同研究はありがたい。また、優秀な人材募集・紹介をして欲しい。
行政支援策への要望	求人広告情報は都心を中心なので、八王子等地域の求人を育成していきたい。そのための種々の制度融資があれば検討していきたい。求人広告費に助成があればありがたい。
その他	

#### 4 【その他】

項目名	ヒアリング内容
人材採用	<p>今までは急成長のため、経験者を採用していた。そのためハローワークや求人雑誌等の活用が多かった。最近、インターネットのHP（ホームページ）をみて応募してくる大学生が多い。来年度から定期的に新卒を採用する方針である。</p> <p>特定メーカーに特化したハード技術なので新卒は難しい。専門学校卒にアタックしたことがあるが、技術経験者が欲しいのでハローワークを主にしている。今後は業務の拡大にともなって大学との接点も必要となろう。</p> <p>採用は求職者から直接申込み。</p>
受注方法	<p>知人・同業者からの紹介や仕事のつながりから紹介が多い。コンペ方式も結構ある。</p> <p>メーカー工場が機器のフィールド拠点であり、直接発注がくる。店舗では直接販売している。</p> <p>顧客からの直接発注          自社営業、代理店、直接受注</p>
通信環境	<p>社内通信環境は高速、社外通信環境は高速を活用している。取引先、地方営業所等との情報、デザイン企画等のコミュニケーションやデータ送受信手段として重要である。</p> <p>社内通信環境は低・中速、社外通信環境は高速（ADSL）を活用している。取引先との情報、データの送受信の手段としてまた店舗での体験学習として活用している。</p>
経営効率向上策について	<p>事業には通信は必須でありインフラの整備等は是非必要である。</p> <p>インフラの整備、安価なオフィスの提供などがあればありがたい。</p> <p>体験学習事業を何とか軌道に乗せたいのでいろいろなコストがかかるので支援策はありがたい。</p> <p>家賃などの助成。ITを活性化するには具体的人材の育成が必要。人材採用支援。</p> <p>高速インフラの整備。産学協同の支援・促進</p>
経営業績向上策について	<p>地元の大学には全国より学生が集まっているので、交流会や企業情報の発信等の支援は必要である。</p> <p>地元の企業の発信の場は必要であろう。</p> <p>IT活性化機能のミスマッチがあり、行政や商工会議所では難しい面がある。</p> <p>共同受注体制づくり。工業デザイン科のある大学との関係。</p>
研究・技術蓄積	<p>八王子市の産業、市民生活に新しい文化を広げるための研究活動など産学協同は是非必要である。</p> <p>大学がどのようなことをしているのかもっと知りたい。</p> <p>大学を出た時に社会に役立つためには、研究活動に単位取得を結びつけることである。</p> <p>産学協同研究</p>
行政支援策への要望	<p>IT産業育成するには、事業オフィスやインフラの整備、商品開発の補助、低利融資などが必要である。</p> <p>個人に対して機器購入や受講費の補助があればよい。</p> <p>大学のITサークルを支援する必要がある。</p> <p>助成金の拡充、資金的支援の拡充。</p>
その他	<p>ソフトウェア中心の企画のように感じる。八王子には小回りのきく中小の加工業者も多数あり、ハードウェア面の支援も期待している。</p>